



2024年度冬のボーナス満額を勝ち取ろう！ シリーズ⑤

社員の苦労に答えろ！ 対立で終了 年末手当再申し入れ団交

本部は本日、2024年度年末手当の再申し入れについての団体交渉を開催しました。JR東海労は、会社が回答した3.0ヶ月は要求とはほど遠く、社員の苦労に応えるものではないとして、再申し入れを行いました。

本部は「多くの利益を上げているにもかかわらず、還元していない。そもそも安定的支給ベースなるものは、低額に抑えるための口実だ。会社はビジネス客がコロナ禍前に戻っていないことを理由としているが、それ以上にインバウンドで収益を上げている。社員は、休日出勤を強要され、年休も取れない中で、歯を食い縛っている。会社は先行き不透明のことも言っているが、年末手当は中間決算で判断すべきだ。リニアのために低額に抑えていることは許されない。要求通りの回答をせよ」などと迫りました。

しかし、会社は「前回の団体交渉で示した回答は、十分社員の苦労に答えるものだ。当社を取り巻く状況は厳しい。リニアは大動脈輸送を二重系化するための当社の使命である。ビジネス客がコロナ禍前に戻っていないことは、先行き不透明である。回答を変える考えはない」などと、対立して終了しました。

本部は、持ち帰り検討としました。